

約1時間経つと、最後尾の伴走車を確認したので、11時15分ごろ帰宅の途についた。夕方の6時に、レジマさんとビスマさんが完走 **FINISHER** のフラッグを持った笑顔のメールが入り、根性と若さを感じる瞬間であった。お二人とも6時間20分台の到着時間で、レジマさん曰く「沿道で声援とともに大阪の美味しいものが給食され、次は何かと楽しんでいるうちにゴールに着きました」とのこと。いい思い出になったと思う。ランナーが集めた寄付金はネパールを含むアジア6か国に井戸を贈る資金になるという。(熱田応援記)

●生活レポート

3月に留学生からお礼とレポートが届きました。要点のみ列記します。



◆タパマガール レジマさんから

今年の3月に日本語の学校を卒業し、4月から栄養士の専門学校に入ります。一生懸命頑張ります。それに、日本語の能力試験 **JLPT** の **N2** レベルに合格したのは嬉しかった。この2年間、アジア協会アジア友の会やロータリークラブの色々なイベントに参加することで行動範囲が広くなり、楽しい思い出がたくさんできました。

2月25日の大阪マラソンにチャリティーランナーとして参加してゴールまで走りました。とてもすばらしい経験でした。



◆バッターライ ルビさんから

2022年の4月から京都 **YMCA** で日本語を勉強、今年の4月から嵐山にある京都栄養医療専門学校に入ります。去年の12月には日本語能力試験 **JLPT N2** でレジマと一緒に合格できて私はとても嬉しかったです。勉強の他に京都の前田コーヒーでアルバイトをして、日本人と普通に話せるようになり日本での生活が好きになりました。

去年の7月に一回ネパールに帰国しました。その時ネパールの2つの大学院を訪ね、ネパールの栄養のレベルと学校の状態を聞きました。大学院の施設でも足りない物が多いことを知りました。日本で栄養の勉強を終えてネパールに帰ったらその大学院の先生達と一諸に頑張ろうと約束をしてきました。

今年の2月25日大阪マラソンで挑戦のつもりで参加しましたが、途中で頭痛と熱に悩まされ、21キロ地点で限界を感じて棄権しました。マラソンで走ったことは日本での一番いい経験だったと思います。いつかまたマラソンで走ってみたいなと思います。ナマステ



◆ライ ビスマさんから

日本の皆様のご支援と親切さに感謝を申し上げます。私にとって2023年はあっという間に過ぎていきました。日本滞在の初年度で非常に素晴らしく、実りの多い年だったと思う。来年、再来年にはもっと刺激的でありたいと思っています。

大学生活における私の担当教授は非常に親切で協力的です。熱心に働いてくれます。私は生化学の知識がないので基本から教えていただき、実験室での研究を楽しく進めています。

一学年のわたしはネズミを使った実験の基本を学んでいますが、間もなくヨードによるネズミの甲状腺機能や新陳代謝の変化を調べる実験にはいります。ネパールに帰国したら人間の健康問題に発展させたいと思っています。大学での会話は英語のため何の問題もないのですが、独りで買い物に行ったときなど、日本語が分からず神経質になってしまう時があります。今年は日本語の上達と海産物を食べるよう心掛けます。日本人は自分の体重や健康についての意識が高く、年齢に比べ非常に若いです。

以上